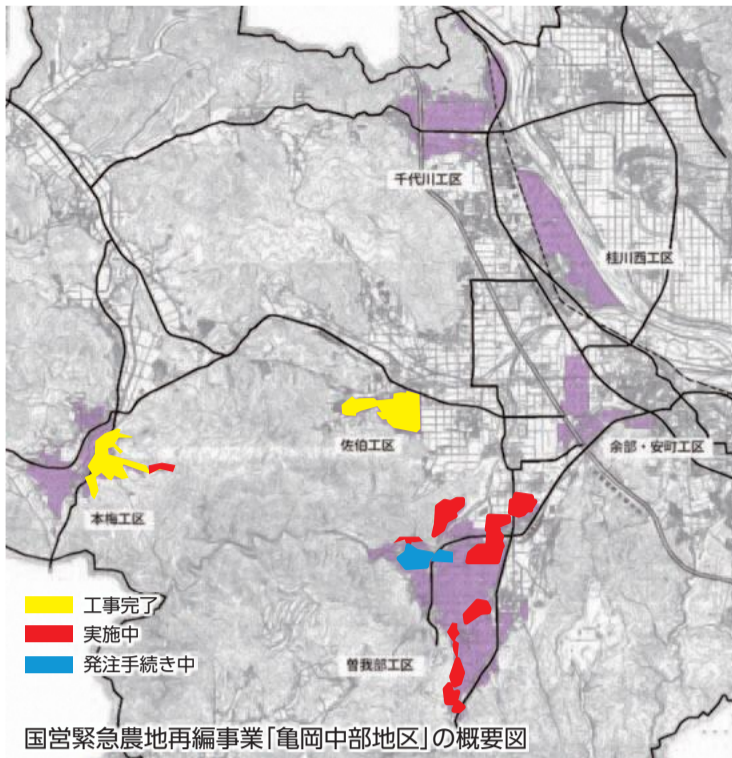


# 国営緊急農地再編事業 「亀岡中部地区」 を実施しています



亀岡中部地区は、保津川（桂川）の右岸（西側）に広がる農業地帯であり、稲作を中心とした水田のほか、都市近郊の立地条件を活かした京野菜などの作付けが行われています。この地区では、農林水産省近畿農政局亀岡中部農地整備事業所を主体とした、国営による大規模な農地整備事業である「国営緊急農地再編事業『亀岡中部地区』」を進めています。

この事業は、これまで農地が狭小で不整形であったために大変な労力がかかっていたものを、大きな区画に整理するとともに、道路や用排水路などを総合的に整備しています。これにより、大型機械の導入をしやすくなり、農業の担い手の集約、耕作放棄地の解消・未然防止などを図りつつ、産地収益力などの向上のための生産コスト低減や農



業生産性を向上させ、効率的な農業経営の実現につなげるものとしています。

過去には、平成12年から23年まで、保津川（桂川）左岸において「国営農地整備事業『亀岡地区』」を実施していましたが、今回の事業はその第2弾ともいえるもので、平成

26年度に着工し、現在6年目、工期は令和5年度までの予定です。対象となるのは本梅、佐伯、曾我部、余部・安町、桂川西、千代川の6工区で、全体で444ha。これまでに本梅東加舎、佐伯工区がほぼ完成し、今年、2作目、1作目の営農をしていただいているところです。曾我部工区では昨年より工事着手しており、現在、広い範囲で工事が実施されています。

亀岡市としては、地元推進組織とともに、本事業によって「未来につながる地域農業」が実現できるよう、早期完成に向けて取り組みを進めてまいります。

## こども医療費助成制度を 拡充します



9月1日以降、従来まで1カ月3,000円の自己負担としていた多子世帯以外の子・中学生の通院分（オレンジ色の受給者証）についても、1カ月200円の自己負担で保険診療が受けられるようになります。

これにより、医療機関の窓口で健康保険証と、こども医療の受給者証を提示することで、すべてのこども医療費受給者の自己負担額が、1カ月1医療機関200円になります（ただし、保険診療分に限ります）。

今回の改正に伴い、3歳から中学校卒業までの通院の際に提示していただく受給者証の色が、クリーム色に変わります。入院および0歳から2歳までの通院にかかる受給者証は変わりません。白色の受給者証をそのまま使用してください。

現在、さくら色、そら色、オレンジ色の受給者証をお持ちのお子さんにはクリーム色の受給者証を8月末に送付しています。

※詳しくは子育て支援課（保健センター内 ☎25-5027）へ問い合わせてください。

## やさしい健康講座 第137回



亀岡市立病院 副院長 田中 宏樹  
専門分野 乳腺内分分泌外科、消化器一般外科、下部消化器外科

市民の皆さんの健康に関して、今回は市立病院の医師が、専門分野についてアドバイスします。

**自己（乳癌）検診をしましょう**

亀岡では乳癌検診から視触診がなくなり、視触診のみで見られる乳癌も少しはありました。しかし触れば確実に分かるほどの精度がなかったので、医師が行うのは取りやめになったのです。しかし乳房は体表面にあり、何も他人に触ってもらわなくても自分で触って見つけることができます。よく触って

もゴツゴツして分らないという意見を聞きますが、あまり神経質になって小さなものを探すと良くありません。2cm以下で転移が無い状態を早期乳癌と言います。多くの日本人女性の乳房では2cm程度の大きさ（むき栗程度）の硬いものを見つかるのはさほど困難ではありません。また閉経前の人は生理後数日後が最も乳腺が柔らかくなって触知しやすくなります。閉経後の人の場合は、閉経前よりソフトになっているために、より分かりやすいです。コツはお風呂で石けんをつけてすべりを良くして手のひらでなでるようにして触ることです。脇も触りましょう。しこり？と思った人はすぐに専門外来にて精密検査を受けてください。また触診で分からない乳癌もありますからマンモグラフィ検診も忘れずに。